



Hikone Castle Town  
彦根城を世界遺産に

# 彦根城を 世界遺産に





彦根城は、江戸時代(17世紀)〜19世紀半ば)の政治体制をあらわす物証の代表例です。世界全体がネットワークで結ばれるという歴史的な動きに対応して、17世紀には、世界の各地域で新しい秩序がつけられました。日本の江戸時代の幕府(中央政権)と藩(地方政権)による政治体制も、その一つです。それぞれの藩は、城を拠点にして政治を行い、秩序ある安定した社会を築き、豊かな文化を生み出しました。

# 彦根城を見れば、江戸時代が分かる。

## Q 江戸時代の城は どんなところだった？

**A** 城といえば戦いのためにつくられた軍事施設というイメージがありますが、江戸時代は戦いのない時代で、城は政治をするための拠点として機能しました。天守を中心に、藩主の住む御殿、重臣たちの住む屋敷が配置され、藩主と重臣はともに政治を担いました。城内につくられた庭園は、藩主や重臣らが和歌、茶の湯、武芸などを実践するところでした。藩校では、家臣たちが学問と武芸を学びました。江戸時代の城は、秩序ある安定した社会をつくるための機能が集められ、一体化していたことに特徴があります。

## Q なぜ彦根城が 「代表例」といえるの？

**A** 江戸時代、井伊家が彦根藩領の政治をする拠点となったのが彦根城です。彦根城といえば国宝の天守がシンボルですが、それだけでなく、二重の堀に囲まれた全体構造と、御殿・重臣屋敷・庭園・藩校などの建物や遺構が一体となって保存されています。江戸時代に藩の拠点となった城は全国で約150ありましたが、城全体の保存状態が最も良く、江戸時代の政治体制をあらわす「代表例」といえるのが彦根城なのです。



### 天守(国宝)

城の中心にそびえるシンボル。大きな飾り屋根を複雑に組み合わせたデザインは、遠くからでもよく見えるための工夫です。



### 表御殿跡

藩主の住まいで、政治の方針決定や儀式をすところ。彦根城博物館の地下に遺構が保存されています。



### 表御殿能舞台

能は儀式のときに上演され、藩主と家臣がともに鑑賞しました。本物の能舞台が城の中に残っているのは、全国で彦根城だけです。



◀ 御城内御絵図(彦根城博物館蔵)



藩校弘道館跡

天守

能舞台

長屋門

重臣屋敷跡



## Q 世界遺産とは？

**A** 世界遺産は、人類全体の価値ある遺産を世界が協力して保護することを目的としています。人類全体にとって、将来にわたって価値があると認められたものが世界遺産一覧表に記載されます。世界遺産には、人類の歴史が生み出した遺跡や建築などの文化遺産、地球の生成や動植物の進化を示す自然遺産、その両方の価値を兼ね備えた複合遺産があります。

## Q 世界遺産に登録する意義は？

**A** まず、世界遺産登録を目指す過程で、彦根城と周辺環境を一体的に守っていく仕組みをつくることが重要です。その上で、彦根城を人類共通の遺産にすることによって、世界中の人にその価値を知られるようになり、滋賀と世界との新しい結びつきが生まれます。地域住民にとっては、地域の魅力を再発見するきっかけになるでしょう。世界遺産登録によって歴史的な遺産を確実に継承し、滋賀の歴史的・文化的な魅力を世界に伝えるとともに、文化遺産を活かした地域の持続可能な発展を目指します。



げんきゆうえん

### 玄宮園

江戸時代の絵図のままの景色が残る大名庭園です。美しい景色を楽しむだけでなく、藩主と家臣が和歌、茶の湯、武芸などを実践するところでした。(表紙写真)

槻御殿

玄宮園

表御殿跡

埋木舎

## Q 世界遺産になるには？

**A** 彦根城は、1992年、暫定一覧表に記載されて世界遺産の候補になりました。正式な推薦のためには、世界遺産としての価値とそれを保護・管理するための計画を詳しく説明した「推薦書」という文書が必要です。現在、滋賀県と彦根市が協力して推薦書原案の作成を進めています(2020年3月、第1稿を文化庁へ提出しました)。推薦書が完成し、国内で推薦候補に選ばれると、国からユネスコに推薦書が提出され、諮問機関の審査を経て、世界遺産委員会で登録の可否が決定します。

暫定一覧表に記載される【1992年】

▼  
推薦書原案の作成【現在作業中】

▼  
国内で推薦候補に選ばれる／ユネスコに推薦書を提出

▼  
諮問機関(イコモス)による審査

▼  
世界遺産委員会で審議、登録決定【目標：2024年】

### ◀ 玄宮園図(彦根城博物館蔵)

#### けやきごてん 槻御殿

表御殿に次ぐ2番目の御殿です。江戸時代の建物が残っている御殿は、全国でもわずかしがなく、貴重です。



#### 重臣屋敷跡

天守と御殿を取り囲む形で、藩主とともに政治を担った重臣たちの屋敷が配置されました。旧西郷屋敷長屋門(写真)は、現存する全国の長屋門の中でも最大級です。



#### うもれぎのや 埋木舎

藩主の跡継ぎ以外の男子を育てるための屋敷で、井伊直弼が暮らしたところです。屋敷全体の建物や庭が当時のまま残っています。



# 彦根城を守り伝えるために

彦根城の価値を将来に伝えるための地域の取り組みを紹介します。

## 次世代に魅力を伝える

### 彦根市立城西小学校

総合的な学習の時間を利用して、彦根城や地域の文化に親しむ学習をしています。4年生は、子どもたち自身がガイドになって、彦根城の魅力を観光客に伝えています。6年生は、外国人観光客へのインタビューも行いました。地域の良さを知って、将来は地域を担う存在になってほしいと考えています。(幸校長先生のお話)



外国人観光客へのインタビュー



小学生による彦根城ガイド

## 来訪者に魅力を伝える

### 彦根ボランティアガイド協会

彦根城を訪れるお客様に、みどころを解説しています。彦根城といえば天守が有名ですが、みどころはたくさんあり、たとえば石段のつくり方に注目して歩いても様々な発見があります。外国からのお客様には、城づくりの技術を活かしながら、260年間平和な時代が続いたことの素晴らしさを伝えたいと思っています。(宮下会長のお話)



ボランティアガイドの活動



## 「彦根城世界遺産登録 意見交換・応援1000人委員会」会員募集!

彦根城の世界遺産登録に向けて、市民・県民や行政・企業・有識者が一体となって、情報共有・意見交換を行い、応援する団体です。会員の皆様には、世界遺産に関するセミナーやイベント、委員会の総会などの案内をいたします。ぜひ1000人委員会のメンバーとして、世界遺産登録や文化遺産を活かしたまちづくりへのご賛同をお願いします。彦根市外・滋賀県外の方もご参加いただけます。

### ●入会申込方法(メール)

タイトルを「1000人委員会申込」とし、下記のアドレスまでメールでお申し込みください。  
氏名、住所、電話番号、メールアドレスをお伝えください。

彦根市文化財課 彦根城世界遺産登録推進室  
hikone-wh@ma.city.hikone.shiga.jp



2020年(令和2年)9月

編集・発行

彦根城世界遺産登録推進協議会(滋賀県・彦根市)

[事務局] 滋賀県 文化スポーツ部 文化財保護課 彦根城世界遺産登録推進室  
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1

TEL・077-528-4682 FAX・077-528-4833 メール・hikonejo@pref.shiga.lg.jp